



2022年4月15日

各位

会社名 株式会社 ハウス オブ ローゼ
代表者名 代表取締役社長 池田 達彦
(コード番号 7506 東証スタンダード)
問合せ先 業務執行役員経営企画室長 小野 敏健
TEL: 03-5114-5814(直通)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年4月15日開催の取締役会において、2021年10月15日に開示した「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」にて発表した2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)の通期業績予想につきまして、以下のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

1. 当期業績予想値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 11,400	百万円 160	百万円 160	百万円 20	円 銭 4.25
今回修正(B)	11,283	262	279	108	22.97
増減額(B-A)	△117	102	119	88	
増減率(%)	△1.0	63.8	74.4	440.0	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	10,681	115	150	△67	△14.38

2. 修正の理由

当期は、新型コロナウイルス感染症拡大が当社業績に与える影響について、合理的に算出することが困難であることから、当期業績予想につきましては、2021年10月15日に公表いたしました。

2021年9月末をもって新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言等が解除され、徐々に業績回復の兆しがみえてきましたが、ハウスオブローゼ直営店舗では、都市部の百貨店を中心に主要顧客年齢層の外出自粛が続き、客数が伸び悩み、さらに今年に入り、まん延防止等重点措置の発出により厳しい環境が続きました。そのため販売促進施策の強化を図り売上の底上げに努めました。一方、EC事業や卸販売事業は、この環境下で計画以上に売上伸長したため、全社売上高は当初予想から1.0%減に留まる見込みとなりました。

費用面につきましては、スキンケア販売の強化及びEC事業の伸長により売上原価率が低減したことに加え、EC事業、卸販売事業の伸長によるテナント料率の低減、さらに経費全般について見直しを図りつつ削減を進めた結果、営業利益は現時点で2億62百万円と当初予想より63.8%増の見込みとなり、経常利益につきましては、雇用調整助成金の営業外収益計上等により2億79百万円と当初予想より74.4%増の見込みとなりました。

なお、配当予想につきましては、修正は見込んでおりません。

以上